

## 第 121 回 CIEC 研究会報告（オープン・エデュケーション部会主催）

### テーマ： 万人に開く教育にむけて ー北米のオープンエデュケシヨナルリソースと 英国のオープンユニバーシティの現状と課題ー

#### 【実施概要】

実施日時：2019年11月24日（日）14：00-16：00

開催場所：大学生協杉並会館

開催概要：

オープン・エデュケーション部会では、世話人を中心にここ数年をかけて北米を中心にニューヨーク公共図書館やカリフォルニア大学などの図書館やラーニングコモンズを継続的に視察している。そして去る9月には、カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校を訪問し、カリフォルニア州立大学23校間における図書館連携、オープンエデュケシヨナルリソース（OER）の現状を視察してきた。さらに、パサデナシティカレッジ校では、カリフォルニアにおけるコミュニティカレッジの課題とその解決の方法の一つとしての図書館そしてOERの在り方を調査してきた。

今回の研究会では、まず吉田氏からオープン・エデュケーション部会の取り組みと北米の視察の報告、UCOMのFaustino Hernandez氏から北米の高等教育におけるデジタル教材等の最新情報、武沢氏からMERLOTとOERについて、伊藤氏からは中等教育の視点からの報告さらに澤口氏から英国におけるオープンユニバーシティの現状と課題を報告があった。

以上の報告を受けて、参加者ととともに、高等教育や初等中等教育における図書館、OERなどの在り方などを中心に議論し、万人に開かれるオープンな学びを実現するための教育環境の課題について考えた。

#### 【タイムスケジュール】

14：00 - 14：10 開催挨拶 司会：吉田晴世氏（代表世話人：大阪教育大学）

14：10 - 14：30 武沢護（早稲田大学大学院/高等学院）

MELROTとOERについて（北米視察の報告から）

14：30 - 14:50 Faustino Hernandez（UCOM.inc）

CIEC 2020 USA Visits & Beyond

15：00 - 15：20 伊藤正徳（東京・聖徳学園中学高等学校長）

中等教育における図書館の役割とOERの可能性

15：20 - 15：40 澤口隆（東洋大学）

英国におけるオープンユニバーシティ滞在記

15：40 - 16：00 ディスカッション

16：00 閉会挨拶（司会）

参加人数 17名

## 【研究会の内容】

武沢護氏（早稲田大学大学院/高等学院）から

テーマ「MELROT と OER について（北米視察の報告から）」

CIEC における北米視察の取り組みの状況，とりわけ 2019 年 9 月に実施したカリフォルニアロサンゼルス近郊の視察についての報告があった。さらにオープン・エデュケーション部会が取り組んでいる OER としての MERLOT への参加と，今後の教育における OER の重要性についての指摘があった。

Faustino Hernandez 氏（UCOM.inc）から

テーマ「CIEC 2020 USA Visits & Beyond」

CIEC における北米視察の取り組みを踏まえて，今後の取り組みの視点とそのいくつかの内容の提案があった。具体的には北米の東海岸での取り組みでとりわけワシントン DC への訪問，EDUCASE へのコンタクトが提案された。

この EDUCASE とは米国の大学における ICT に関わる二つの組織(EDUCOM, CAUSE)を，1998 年に統合してできた NPO で「ICT の活用を推進することにより高等教育を発展させる」ことを目的したものである。現在，約 2,200 の大学・教育関係の組織が加盟し年次大会を開催している。

CIEC としてここへのアプローチも視野に活動していくことが提案された。



伊藤正徳氏（東京・聖徳学園中学高等学校長）から

テーマ「中等教育における図書館の役割と OER の可能性」

聖徳学園は東京武蔵野にある男女共学の中学・高等学校である。数年前から ICT 教育に力を入れ，iPad の必携化，ラーニングコモンズなどの設備を整えた優れた ICT 環境もっている。今回は CIEC 北米視察に同行した伊藤校長から，聖徳学園における各教科だけでなく，映像制作，海外交流などに関する積極的な活動の紹介があった。さらには現在，学校図書館の在り方をみなおし，司書教諭とともに学習活動への重点的な取り組みを企画しているとのことであった。聖徳学園の取り組みは CIEC の小中高部会の活動などにも非常に参考になる事例となるであろう。

澤口隆氏（東洋大学）から

テーマ「英国におけるオープンユニバーシティ滞在記」

澤口氏が昨年 1 年間在外研究で滞在したオープンユニバーシティの紹介があった。オープンユニバーシティは 1969 年設立された英国の大学で，放送を教育の手段とすることが特徴で，わが国の放送大学に似ている。もともとは BBC などと協力してテレビ・ラジオの講座の視聴のほか，オープンエデュケーションナルリソース,MOOC'S などの通信教材による学習，カウンセラーやチューターによる面接指導・演習やスクーリングが

行われるとのことであった。北米の取り組みとは一味違う点で非常に興味深い報告であった。

以上、今回の研究会では北米のオープンエデュケーションリソースの取り組みだけでなく、イギリスにおけるオープン・エデュケーションの一つの形態としてのオープンユニバーシティでの取り組みの詳細を知ることができた。

また、オープンエデュケーションリソースは高等教育での取り組みが中心に語られるが、これからは中等教育においても重要な取り組みになってくる。ICT環境の整備と学校図書館との連携という視点が聖徳学園の取り組みから一つの示唆が与えられた。

最後に参加者からの積極的な質問もあり、今後のオープン・エデュケーション部会の方向性にも参考になる有意義な研究会となった。



(文責：オープン・エデュケーション部会 武沢護)